

ハ閣下ガ山獄ノ愛憫ト洋海ノ賢察トヲ以テ我々素志ヲ聴許セラレン
コトヲ別紙相副此段奉悃願候也

追テ書其意ヲ尽ス能ハズ洩レタル廉ハ委曲口頭ニテ陳述可仕候

明治二十二年五月廿七日

橋樹郡矢崎村議員

板津 芳太郎印

山本 直二郎印

横溝 四郎兵衛印

山本 幸太郎印

北村 徳二郎印

大塚 弥太郎印

岩本 市右衛門印

北村 二郎印

同郡宮川村會議員

矢部 佐吉印

飯岡 清兵衛印

飯岡 文吉印

本郷 竹蔵印

安藤 鉄二郎印

飯岡 周蔵印

神奈川縣知事 沖 守固殿

青木 勘吉印
石井 富蔵印

神奈川縣庁付箋用紙

第三〇号

出願人ヨリ下戻方申出ニ拠リ書面却下ス

明治二十二年五月廿九日

神奈川縣庁
第一部

上 申

(5)

別紙願書下戻方出願仕候事無之候ニ付受理難相成候得者内務大臣へ
出願之都合モ有之候間何等之理由御明記被成下度此段上申仕候也

明治二十二年五月三十日

橋樹郡矢崎村

北村 二郎印

同郡宮川村

飯岡 周蔵印

神奈川縣知事 沖 守固殿

町村組合事務取扱方希望書

(一)

宮川村
矢崎村

一 宮川村矢崎村ニ関スル一切ノ事務ハ凡テ分任相成度尤法律上町
村長収入役ニ於テ必ズ処分ヲ要スル事件ハ之ヲ調整シタル上町村
長収入役ニ移シ処弁スルコト

一 宮川村矢崎村ニ関スル一切ノ証書帳簿類ハ悉皆助役ニ於テ預リ
置其目録書ヲ町村長ニ呈出シ候コト

一 分任事件ハ前月分ヲ翌月十五日マデニ町村長ニ報告スルコト

一 右両村ニ関スル凡テノ費用ハ該村ニ於テ悉皆負担シ組合費用ト
シテ年額金拾円ヲ組合役場へ上納可致コト

一 助役ハ該兩村ヨリ各一名ツ、撰出シ前条ノ事務ヲ分担処弁シ又
ハ双方補助スル等便宜取扱フコト

一 助役ハ兩村内便宜ノ場所ニ於テ事務取扱候コト

前条ノ通り事務取扱被成候ハ、村民ノ便益不虧候ニ付保土ヶ谷町ニ
於テモ特ニ承諾致具候様一同希望仕候也

前新条定決被成候ハ、過日差出候願届等ノ書類御下戻シ被下度候

神奈川県属 金田吉郎殿

二ヶ村負担費用

一金 三十拾円

但シ一ヶ月金貳円五拾錢

一金 四十拾八円

飯岡 清兵衛

青木 勘吉

矢部 佐吉

安藤 鉄次郎

本郷 竹藏

飯岡 文吉

石井 富藏

矢崎村々会議員

北村 二郎

板津 芳太郎

大塚 弥太郎

山本 幸太郎

消耗品

書記給料

明治廿二年六月一日

宮川村々議員

飯岡 周藏

但シ一ヶ月金四円

一金 四拾八円

但シ一ヶ月金四円

一金 四拾八円

但シ一ヶ月金四円

一金 六円

但シ一ヶ月六拾六錢七厘
(金説)

一金 六円

但シ一ヶ月金五拾錢

計金 百八拾八円

外

一金 拾貳円

合計金 貳百円

右之通ニ候也

明治廿二年六月一日

小使 給料

助役二名報酬

官報代
神奈川縣公報

借家料

町村役場実費

宮川村
矢崎村

請願書

昨年町村制実施ニ先チ橋樹郡属ナル仏向坂本〔現今矢崎村〕ノ両村ハ程ケ谷駅トノ連合ヲ離レテ都築郡属ナル二俣川村トノ連合ナル川島上星川〔現今西谷村〕ノ両村ニ合併シ何レカ其一方ノ郡属タラシノ望ミヲ抱キ双方協議賛同ノ上共ニ神奈川縣庁ニ出願シ大ニ其理由ヲ状陳セシガ不幸ニシテ認可ノ沙汰ニ及バザリキ是村民拳ツテ遺憾ニ堪エザル所ナリ去レバ不幸ヲ歎シツ、依然トシテ程ケ谷駅ト連合シ居ランカ徒来ノ経歴ニヨルニ実ニ不便ニシテ且大ナル損害アルヲ奈何セン因テ止ムヲ得ズ偷安ノ計暫ク仏向坂本ノ両村相合シテ矢崎村トナリ茲ニ始メテ程ケ谷駅ト究竟分離ノ基礎ヲ作り役場ヲ支分シテ村内ノ事務ヲ掌理セシモ素トヨリ一小寒村ノ之ヲ維持スルノ困難ナルノミナラズ况ヤ程ケ谷駅トノ連帯ノ費用ヲ免カレザルニ於テヤ是則チ一時ノ究計ニシテ固トヨリ永遠ノ望ミアルニアラザレバ郡制実施ニ先ツノ今日再ビ両村賛同シテ敢テ請願スル所以ナリ依テ更ニ左ニ其理由ヲ詳述シ以テ閣下ノ憐察ヲ仰カントス

一 矢崎村ハ橋樹郡属ニシテ其隣レル者ハ程ケ谷及ビ都築郡属ナル西谷村トス而シテ程ケ谷駅ハ東海道路筋ニ当テ家屋連続往来頻繁タリ故ニ從テ商業モ繁榮シ富ノ程度モ自ラ高マリ生計ノ度モ大ニ其趣キヲ異ニセリ之ニ反シ矢崎村ハ偏僻ノ小村落ニシテ戴星踏月ノ

(三)

勞ヲ取テ以テ纒ニ消日ナシツ、アル者ナリ加之ニ人情風俗ノ如キハ全ク其岐ヲ異ニシ平生ノ出来事ニシテ未ダ嘗テ相關支柱セラレタルコトアラズ若シ夫レ管轄ノ上ヨリ云ハバ同ジク橘樹郡風タリト雖モ山アリ川アリ林アリテ其境界ヲ形作り交際ノ事自然ニ相疎隔シ平生其利害ノ關係ハ殆ド絶無ト云フテ可ナリ然ルニ西谷村ハ其郡風ヲ異ニスト雖モ地相接シ家相連リ人情風俗生計富度皆稍ヤ均一ナリ故ニ平生ノ交誼從テ親密ニシテ冠婚葬祭ノ如キ末事ニ至ルマデ互ニ往來祝弔シ其状恰モ同村ニ均シキ觀ヲ為スモノ是今日ノ現勢ナリ夫レ人類ハ感情ヲ同フシ利害ヲ共ニスル者ヲ求テ集合スル者タルコト是実ニ自然ノ理勢ナリ矢崎村ガ同郡風ナル程ケ谷駅ヲ避ケテ殊ニ郡風ヲ異ニスル西谷村ト其交誼ヲ深フシ其利害ヲ訴フル所以ノ者ハ寔ニ是レ感情利害ヲ同一ニスルノ適証ナリトス然ルニ感情ヲ異ニシ利害ヲ同フセザル人類ヲ同一ノ柵中ニ驅テ同一ノ管理法ヲ以テ之ヲ支配セントスルハ蓋シ一村相和親シ以テ福祉ヲ後來ニ希圖スルノ道ニアラザルナリ斯ノ如キ道理アルガ故ニ矢崎村ハ斷乎トシテ程ケ谷駅ニ連合ノ不利ヲ唱フルニ至テ切ナリトス

一 若シ夫レ生計富度ニ大差アル二個ノ土地ヲ結付ケテ均一ノ納租ヲ為サシムルハ優者ノ幸劣者ノ不幸ト云ハザルヲ得ズ矢崎村ガ程

ケ谷駅ト連合スルトキハ均シク同一ノ納租ヲ辞ス能ハザルハ自然ノ道理ニシテ而シテ其富度生計ノ程ケ谷駅ハ連合ノコトニヨリ納租ノ義務ノ幾分ヲ免カレタル者ト云フベキモ優者ニ結付ケラレテ同一ノ負擔ヲ為シ苦痛ノ淵ニ沈ム矢崎村ノ不幸果シテ幾千ゾヤ則チ其負擔ノ重キヲ致ス目前一二ノ例ヲ挙グレバ矢島村ハ從來衛生消防ノ二費ヲ要セズ道路橋梁ニ関スル費用ノ如キモ絶テ之レ有ラザルニ其連合シ居ルノ故ヲ以テ是等ノ費用モ亦從テ連帶支出セザルヲ得ズ是劣者ノ位置ニ立ツ矢崎村ノ到底重荷ニ堪エザル所ナリ

一 以上二個ノ理由ニ依リテ矢崎村ガ程ケ谷駅ニ連合ノ不利ナルコト既ニ明カナリ矣以下西谷村ノ矢崎村ト併合スルノ便且利ナルノ理由ヲ述ベン抑西谷村ト矢崎村トハ共ニ坦然タル一帯ノ平地ニシテ家屋モ亦相連リ自然一村落ノ形ヲナセル者ニ似タリ故ニ其人情風俗ハ毫モ異ナル所ナク富度生計ノ如キモ殆ド同一ナリ而シテ西谷村ハ現今二侯川村ノ組合内ナルガ故納租ノ期至ルトキハ其地ニ於テ製産セル物品ヲバ横浜若シクハ神奈川程ケ谷等ニ齎ラシ而シテ居村ニ歸リ復更ニ西方壱里余ノ外ニアル二侯川村ニ至リ以テ其義務ヲ果ス等ノ如キ其他是ニ追從セルノ不便不利甚ダ多シ況ヤ二侯川村ト西谷村トノ間ニハ許多ノ坂路アリ林巒アリテ天然兩村ノ境界ヲ為ス者ノ如シ是ヲ以テ納租其他ニテ村民ノ村長役場ニ往復

スル者其困難少ナキニアラズ惟リ困難ナルノミナラズ之ニ要スル時間ノ徒費經濟上云フ可カラザルノ損失アリ然ラバ全ク二俣川村ノ組合ヲ離レテ独立自治ノ方針ヲ取ランカ一小村ノ能ク費用ヲ支フル能ハザルコト恰モ矢崎村ノ程ケ谷駅ニ於ケルガ如キヲ奈何セシヤ然ルヲ万一矢崎西谷ノ両村併合シ其中央ニ於テ村内ノ事務ヲ掌理スルトキハ最遠ノ地ヨリスルモ纔ニ半里ニ過ギザレド之ヲ従前ノ二俣川村ニ往復スルニ比スルニ主トシテ其不便不經濟ヲ除キ且其感情利害ヲ共ニスル両村ガ同一ノ支配内ニ在ルコトナレバ百事干端其支配ヲ異ニセル當時ニ比シテ各村ガ稟受スル便益決シテ尠少ニアラザルナリ今矢崎村ノ有スル地価及ビ戸数ヲ挙ゲンニ地価金貳万六百四拾三円六拾七錢三厘戸数八拾四戸ニシテ都筑郡屬ナル西谷村ガ保有セル地価戸數ハ即チ地価金五万零千零貳拾五円三拾三錢三厘戸數貳百拾七戸ナリ即チ其地価全戸數ヲ合算スレバ地価金七万一千六百六拾九円零六厘戸數三百零壹戸ナリ且近來此西谷矢崎兩村ノ間ニ跨リテ一ツノ屑繭紡績会社ノ設立アリ為ニ兩村ノ間ニ日々戸數ノ増加スルノ勢アリ這ハ枝葉瓊末ノ事柄ナリト雖モ是亦兩村ノ併合ヲ促スノ一因トシテ數フ可キモノトス故ニ付記シテ參考ニ供ス以上數多ノ理由アルヲ以テ此兩村ヲ連結シ得ラルル者トセバ兩村ガ將來ニ受クルノ福利実ニ大ナリト謂フ可

シ

一 右ハ矢崎村ガ程ケ谷駅ニ連合セルノ不便不利ニシテ西谷村ト合併スルノ宏益アル理由ヲ挙述シ及ビ西谷村ノ矢崎村ト連結スルノ便且利ナル要略トヲ列載スル者ニシテ其郡屬ノ如キハ何レニ屬スルモ双方共ニ敢テ不可ヲ唱フル者ニアラズ依テ茲ニ兩村人民總代署名捺印スル者ナリ誠ニ夫レ本願ノ許否何如ハ以テ我西谷矢崎兩村人民享福ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有スル者ニ付キ伏テ願クハ閣下ガ充分ノ觀察ト憐愛トヲ以テ本願ノ素志ヲ遂ケシメラレンコトヲ敢テ奉請願候也

明治二十三年十一月 日

神奈川県都筑郡西谷村

総代 石井 綱 七印

同 刈部 善次郎印

同 刈部 広 助印

同 中田 林三郎印

同 同県橋樹郡矢崎村

総代 大塚 弥太郎印

同 板津 芳太郎印

同 北村 二郎印

同 横溝 四郎兵衛印

内務大臣

西郷従道殿

(三)

拜啓陳者曩ニ口上ヲ以テ申上候ニケ村(宮川 矢崎)事務所位置之義過日御

返事承リ候ニ付本日更ニ法性寺エ集合致シ候所左之通り希望候

一 二ケ村事務所位置之義者二ケ村尤モ遠隔ナル住家ヨリ里程ヲ計

リ何村ニ係ラズ中央ノケ所ニ相定新築スベキコト

但里程ハ双方立会測量ノコト

二 右新築之義不可ニ候ハ、両村ノ内一ケ年ヅ、交番ニ借家シ事務

所相定候事

但シ可相成両村ノ中央ヨリ遠隔セザル場所エ借家シ事務所トナ

スベシ

右者明治廿五年二月十五日弊村相談之上責村諸君ノ賛成ヲ得度候間
御相談ノ上右ニケ条ノ内何レ成共可否御返事承リ度候尤モ本日ヨリ

一週間位之内ニ御回答被下度候 頓首

明治卅五年二月十五日

宮川村会

矢崎村

議員御中

拜復矢崎村宮川村事務所移転之義御申越被成候処右ハ移転ノ必要ヲ
認メ申サ、ルニ付賛成難致候段及御回答候也

明治廿五年二月十七日

矢崎村会

宮川村

議員御中

(四)

上申

橘樹郡訓令第二二号ヲ以テ組合規定更正之儀訓令相成候趣御通知相
成依テ近日連合会開合可相成候思考仕候右ニ付テハ、当村復セザル廉
有之請願致シ候間暫ク開会之義御猶予相成候様願度此段上申仕候也

明治廿七年十月廿八日

矢崎村議員

板津 芳太郎印

山本 金藏印

山本 幸太郎印

山本 直次郎印

北村 徳次郎印

横溝 四郎兵衛印

保土ヶ谷町外二ヶ村

組合長 金子泰吉殿

岩 本市右衛門印
北村 二 郎印

請願書

(四)

橘樹郡

矢崎村

從來矢崎村ハ宮川村ト共ニ程ヶ谷町ト組合タルノ体面ヲ維持スルモ其間ニ種々ノ事情ノ存スルモノ在テ組合ハ其名ノミニシテ實際ニ於テハ殆ンド独立ノ姿ニ似タリ然ルニ今般監督官庁ノ訓令ニ由テ之レガ組織ヲ更改セザルヲ得ザルニ至レリ然ラバ該訓令ニ基テ之ガ組織ヲ更改センカ此レニ由テ生出スル所ノ人民ノ損害尠少ナラザルヲ奈何センヤ依テ今矢崎宮川両村及ビ程ヶ谷町カ町村制実施以來ニ於ケル経歴及ビ種々纏綿セル事情ニ係ル顛末ノ要略ヲ具状シ以テ閣下ノ參按ニ供セントス

抑曩キニ町村制実施ニ先ツテ矢崎村宮川村ヲ以テ程ヶ谷町ニ合併ス可キ旨ノ令達アリタリ然レドモ山間僻隅タル矢崎宮川ノ一族ヲ以テ

小都邑トモ云フ可キ程ヶ谷町ニ編入スルトセンカ其地形上ヨリスルモ富度生計ノ差ヨリスルモ又人情風俗ノ異ナル所ヨリスルモ殆ンド別天地ノ如キ觀アル異質ノ二町村ヲ結合シテ一率ノ下ニ一切ノ事務ヲ共同処理セシムルガ如キハ必竟双方ノ間ニ於ケル安寧幸福ヲ永遠ニ希図スルノ道ニアラザルヲ以テ矢崎宮川ノ二村ハ程ヶ谷町ニ合併ノ令達ニ服セズ既チ事情ヲ開陳シテ之レガ取消ヲ請願セリ官庁ノ高明ナル其事理ノアル所ヲ洞見セラレ直チニ合併ノ令達ヲ取り消サレ更ニ該二村ヲ以テ程ヶ谷町ト組合組織ニ改ムベキ達示アリタリ左レドモ合併ト組合トハ素ヨリ其名実共ニ異ナリト雖モ尚ホ利害得喪ヲ共ニセザル異質ノ町村ヲ結合スル以上ハ其不便不利タル猶均シク啻其苦痛ヲ感ズルノ点ニ於テ稍々小ナルノミ曷ゾ不便不利ノ大ニシテ且ツ早晚双方ノ間ニ破綻ヲ招クノ因トナル可キヲ知りツ、默從シテ以テ言ヲ將來ニ遺スニ忍ビンヤ是ニ由テ關係町村ノ議員一同熟議ノ上右一同ノ連署ヲ以テ解組ノ事ヲ訴願セリ是レ其程ヶ谷町ト組合組織ノ不便不利タル独リ矢崎宮川ノ両村ノミニ止マラズ程ヶ谷町モ亦感テ同フスルヤ明カナリ何トナレバ之レガ解組ノ訴願ニ共ニ贊同シテ連署セシモノナレバナリ然レドモ當時監督官庁ハ如何ナル都合ニ依レルモノ歟遂ニ願意ヲ聽許セラレズ只管程ヶ谷町ニ組合タランコトヲ勧誘懇諭セラレタリ當時其懇諭ノ言ニ曰ク是レ一ヶ年間表面

上(裏面ハ独立)唯町村制順序方法ニ依ルノミ是レ組合規定ヲ見ルモ明カナリ追テ解組ノ出願ヲナサバ直ニ之ヲ許可スベシト(當時監督官庁ト本村総代人トノ間ニ往復セルノ文書尚存スルモノアリ一閱ヲ賜ハバ明カナルベシ若シ夫レ時宜ニヨラバ貴覽ニ供セン)然リト雖モ矢崎宮川ハ尚之レヲ適理ノ処置トセズ究竟一時矢崎宮川ニ限ル一切ノ事務取扱ノ為メ両村ノ間ニ一役場ヲ設ケ之レニ二名ノ助役ヲ置キ右二村ニ限ル事務ヲ掌理スルコトヲ得ルノ許可ヲ得タリ是レ蓋シ監督官庁ニ於テモ該二村ノ程ケ谷町ト組合フノ必竟不得策タルヲ認識セラレタルニ由ルモノナルコト論ヲ俟タズ其後再ビ素願ヲ達セントシ之レガ手続ヲナシタリシモ監督官庁ハ何故ニカ言ヲ左右ニシ前約ヲ履行セラレザリキ爾來涙ヲ吞ンデ遷延今日ニ至リタリ是レ誠ニ村民一同ノ遺憾ニ堪ヘザル所ニシテ又監督官庁ノ処置適理ナラザリシヲ憾ミザルヲ得ザル所トス然ルニ豈凶ランヤ監督官庁ハ今ヤ突然トシテ橘樹郡訓令第二二号ヲ以テ左ノ如ク達セラリタリ

(橘樹郡訓令第二二号)

保土ヶ谷町
宮川町
矢崎村
組合

其町村組名規定ノ内左之事項ハ不適法ナルコトヲ認メ候ニ付更正スベシ

- 一 条例ニヨルニアラズシテ助役数名ヲ置クコトハ相成ラズ
 - 二 助役ハ組合会ニ於テ選舉スベキモノトス
從テ各町村ニ置クコトヲ得ズ
 - 三 組合費ノ予算ヲ置キ組合会ニ於テ議決セザルベカラズ
 - 四 各村ニ役場ヲ設クベカラズ
 - 五 町村一切ノ事務ハ分掌スベキ者ニアラズ
- 右訓令ス

明治二七年十月廿二日

神奈川県橘樹郡長 安達安民(印)

右ノ訓令ニ接シテ吾等人民ハ啞然トシテ驚キ喟然トシテ歎ズルノ外ナシ否ナ驚キ且ツ歎ジテ止ム可キモノナランヤ抑々矢崎宮川ノ程ケ谷ニ組合ヒ二村ノ間ニ役場ヲ設ケ助役ヲ置キ事務ヲ分掌シ来リシガ如キハ固ヨリ本村人民等ノ素望ニハアラザリシナリ只夫レ解組ノ上獨立ニ至ル迄ノ倫安姑息ノ策ノミ何ゾ永安ノ計ナランヤ其止ムヲ得ザルニ出デシ事ノ事実ハ前段ニ於テ既ニ詳カナリ豈復弁ヲ要センヤ以上陳述スル所之ヲ要スルニ矢崎村ノ程ケ谷ニ組合タルコトハ土地遠隔ノ不便ハ言ヲ待タズ主トシテ富度生計及ビ人情風俗ノ異ナルヨ

リ自然得失利害ヲ共ニセザル異質ノ町村ヲ強テ組合タラシムルハ将来調和ノ見据之レナキノミナラズ却テ双方ノ不利ヲ来シ害ヲ永遠ニ遺スノ恐レナキ能ハザルヲ以テ庶幾クバ閣下ノ明断速ニ解組ノ御許可アラント別紙旧請願書之写相副此段奉懇願候也

追テ以上具陳スル所ハ啻其概要ニ止マレバ委曲ハ口頭ヲ以テ陳述可仕候

明治二十七年十一月十六日

橘樹郡矢崎村々民総代

板津 芳太郎

山本 直二郎

横溝 四郎兵衛

山本 幸太郎

北村 徳二郎

山本 金蔵

岩本 市右衛門

北村 二郎

神奈川県知事 中野健明殿

(四)

明治二十七年十一月十六日付組合解組願書ハ一村ノ議員トシテ願出ヘキ筋ニ無之何分詮議難相成旨ニテ別紙願書却下相成候ニ付及御返戻候也

明治二十七年十一月二十八日

保土ヶ谷町外貳ヶ村

組合長 金子泰吉(印)

矢崎村

北村 二郎殿

岩本市右衛門殿

山本 金蔵殿

山本 幸太郎殿

山本 直次郎殿

板津 芳太郎殿

(「北村家文書」『保土ヶ谷郷土史』下巻)

一 究 津久井郡中野村他四か村組合分離問題に

関する行政裁判関係書類(二一六)

(一)

明治廿九年八月廿八日

不当処分取消請求訴訟ニ対シ 訴状
神奈川県参事会裁決不当ノ

原告訴訟代理人 利光鶴松

訴状

神奈川県津久井郡中野村外四ヶ村組合会

議長同組合長

原告 八木 国次郎

安政六年六月生

里程十五里

東京市麴町区内幸町一丁目三番地 弁護士

右訴訟代理人 利光鶴松

被告 宇高正郎

不当処分取消請求ノ訴願ニ対シ神奈川県参事会裁決不当ノ訴

一定ノ申立

神奈川県津久井郡中野村外四ヶ村組合ニ於テ組合分離ノ件ヲ議決シタルハ権限ヲ超ヘタル議決ニアラス依テ被告ノ与ヘタル裁決ハ取消スヘキモノナリ訴訟費用ハ被告ノ負担トスト判決相成度候也

事実

明治廿九年二月廿五日神奈川県津久井郡中野村外四ヶ村組合会ハ区域闊大ニ過キ人情風俗ヲ異ニシ自治ノ実ヲササル等ノ故ヲ以テ該五ヶ村組合分離ノ議決ヲナシタルヲ以テ被告監督官庁ニ出願セシニ被告津久井郡長ハ本年四月九日付属書第一号ノ如ク訓令第廿五号ヲ以テ「組合分離ノ議決ハ組合町村ノ協議ニ出ツヘキモノニシテ組合会ニ於テ議決スヘキモノニ無之旨ヲ以テ該議決取消スヘキ旨」ヲ訓令シ来レリ依テ本年四月十八日更ニ組合会ヲ開キ被告ノ訓令ヲ示シテ再議セシメシモ組合会ハ固ク前義ノ正当ナルコトヲ主張シ決シテ権限ヲ越ヘタルモノニ非ズト議決シ前議ヲ更メサルニヨリ付属書第二号ノ如ク津久井郡参事会ノ裁決ヲ求メタルニ付属書第三号ノ如ク被告「組合分離ノ事ハ組合五ヶ村ノ協議ニ出ツルカ又ハ五ヶ村ノ村会ニ於テ議スルノ外組合会ニ於テハ議決スヘキモノニ非ラサルニ付組合会ニ於テ組合ノ分離ヲ議決シタルハ権限ヲ越ヘタル議決ニシテ郡長力議決ノ取消ヲ訓令シタルハ不当ノ処置ニ非ラズ」トノ裁決ヲ下シタリ依テ付属書第四号ノ如ク本年五月二十八日更ニ神奈川県参事

会ニ向ツテ前記郡参事会裁決ニ関シ訴願シタルニ本年八月七日付属書第五号ノ如ク「中野村外四ヶ村組合会ニ於テ為シタル組合分離ノ議決ニ対シ津久井郡参事会ノ職務ヲ行フ津久井郡長宇高正郎ノ与ヘタル裁決ハ取消ヘキ限リニアラズ」トノ裁決ヲ下セリ於爰更ニ本訴ヲ提起スルノ止ムコト無キニ至レリ今其請求ノ理由ヲ左ニ開陳セン

理由

抑本件中野村外四ヶ村組合ハ町村制実施ノ当時各村独立ヲ主張シ五ヶ村組合ハ容易ニ協議整ハサルヲ以テ津久井郡長ハ付属第六号(書脱)ノ如ク五ヶ村組合ヲ設ケタルヨリ漸ク關係五ヶ村ハ協議シテ組合規約ヲ定メタリ而シテ本件ニ於テ裁決ヲ受クヘキ要旨ハ明治廿九年二月廿五日中野村外四ヶ村組合会ニ於テ全組合分離ノ件ヲ議決シタルハ権限ヲ越ヘタルモノナルヤ否從ツテ津久井郡参事会ノ職務ヲ行フ被告津久井郡長宇高正郎ノ与ヘタル裁決ハ取消スヘキ理由アリヤ否ヤニアリトス

依テ案スルニ神奈川県参事会裁決ノ理由タルヤ「本来組合会ハ其組合協議規定ニ依リ与ヘタル権限内ノ事項ヲ議決スルノ外該規定ノ範圍外ニ涉リ若クハ之レニ矛盾スルカ如キ議決ヲ為スコトヲ得ス故ニ組合ヲ解除スルトキハ組合会ノ議決ニ依ル可シトノ特ニ規定ナキ以

上ハ組合会ニ於テハ此等ノ権限ヲ有セルモノニアラス」云々ト云フニアレトモ是レ法理ヲ顛倒シタルモノニシテ且町村制ノ精神ヲ無視セルモノナリ元来本組合協議規定書第十項ニ「此規定ニナキモノハ総テ本制ニ依ルモノトス」トアルヲ以テ町村会ニ属スル権限ト本組合会ノ権限トニ一ノ相違スル点アルヲ見ス而シテ其組合会ニ於テ組合ヲ分離スルハ一ニ組合ニ属スル專權ニシテ從テ之レカ議決ヲナシタルハ相当ナリトス何ントナレバ苟クモ既ニ關係組合各村ニ於テ協議ノ上組合協議規定ニ依リ一ノ組合会成立シタル以上ハ即チ其代議機關存スルヲ以テ之ニ依テ其組合ノ意思ヲ發表ス可ク從テ其意思ノ存スル所ニ依テ組合会ノ存廢ヲモ決議シ得ヘキハ当然ナレハナリ況ンヤ町村制及組合協議規定ニ如斯決議權ナシトノ所謂禁止の規定又ハ之ニ抵触スヘキ条項アルニ非ラサルヤ然ラバ則チ組合ヲ解除スルトキハ組合会ノ議決ニ依ル可シトノ特ニ規定存スルニアラサレハ組合会ニ於テ此等ノ権限ヲ有スルモノニアラズト為スハ甚タ理由ナキナリ且夫レ県参事会説明スル理由ノ如ク組合ノ存廢ハ組合内各村ニ直接利害ノ關係ヲ有スルヲ以テ其各村ニ限り組合ヲ解除スルノ権限アリトナサント是其代議機關タル組合会ヲ無視シタルモノナリ町村制第百拾八条ニ協議云々ノ文字ヲ明記セサル所ヲ以テ見ルモ既ニ其關係各村ノ代議機關タル組合会具備セル以上ハ特ニ各村更ラニ協

議スルノ必要ナキコトヲ認メタルモノニシテ畢竟石県参事会ノ説明ハ組合会ノ何物タルヲ弁識セサルモノナリ

籲ツテ被告カ本件議決ハ取消スベシトノ論旨ヲ觀ルニ「当初組合ヲ組織シタル時ト均シク五ヶ村宜シク協議ヲ遂クルカ又ハ五ヶ村々会ニ於テ議決スルカ」二者其一ニ抛ル可キモノナリト云フニアレトモ抑五ヶ村更ラニ協議ヲ遂クベシト為スハ全ク其代議機關タル組合会ヲ無視シタルモノニシテ即組合会ナキ場合ト全一ノ場合ヲ論スルモノト一般ニシテ甚タ無謂ノ論旨タリ又五ヶ村々会ニ於テ議決スヘシトナスハ村会ノ何タルヲ解セサルモノニシテ且如斯議決ハ村会ニ於テスベシトノ町村制ノ規定ナシ又實際町村会カ之ヲ議決セントスルモ其各町村ハ利害相反シ又ハ絶対ニ利害ノ關係ナキ町村アルヲ以テ到底正當ノ議決ヲ為シ得サルヤ明ナリ然ラバ即チ最モ直接其利害關係ヲ有スル關係各村ノ代議機關タル組合会ニ於テ是等ノ議決ヲ為スハ尤モ適當ナリトス且町村制其他組合協議規定等ニ於テ之ヲ禁止スル如キ反対条項ナキモノナルコトハ前段既ニ詳説スル如クナレハ到底以上ノ論旨ハ失當タルヲ免レズ

立証

付屬書第一号ヨリ第六号マテヲ以テ本件ノ立証トス

神奈川県参事会ヨリ裁決書ヲ交付シタル年月日

明治廿九年八月七日
以上

明治廿九年八月廿八日

原告訴訟代理人

利元鶴 松印

行政裁判所長官

箕作麟 祥殿

証 拠 物 写

〔(本書) 付屬書第壹号〕

津久井郡訓令第二五号

中野村外四ヶ村組合役場

明治廿九年二月二十八日四月二日報告中野村外四ヶ村組合会ニ於テ該組合分離上申ヲナスノ議決ハ組合町村ノ協議ニ出ツヘキモノニシテ組合会ニ於議決スヘキモノニ無之候条該議決ハ取消サルヘシ
明治廿九年四月九日

神奈川県津久井郡長 宇高正郎

〔(本書) 付屬書第貳号〕

中野村外四ヶ村組合会職務権限ノ義ニ付上申

明治廿九年二月廿五日中野村外四ヶ村組合会ハ区域濶大ニ過キ人情風俗ヲ異ニシ自治之実挙ヲサル等ノ故ヲ以テ組合分離之議決ヲナシ已ニ出願致シ候処然ルニ監督官庁ハ本月九日訓令第貳拾五号ヲ以テ組合分離ノ議決ハ組合町村ノ協議ニ出ツヘキモノニシテ組合会ニ於テ議決スヘキモノニ無之ニ付該議決ハ取消スヘキ旨ヲ達セラレタルニヨリ本月十八日更ニ組合会ヲ開キ監督官庁ノ指揮ニヨリ分離ノ議決ヲ取消スヘキ旨ヲ以テ再議セシムルト雖モ組合会ハ固ク前議決之正当ナルヲ主張シ決シテ権限ヲ越ヘサルモノト議決シタリ
因テ組合会ハ前議決ヲ更メサルニ付本制第六拾八条第二項第一ニ依リ具申仕候間相当ノ御裁決相成度此段及上申候也

明治廿九年四月廿二日
津久井郡中野村外四ヶ村
組合長 八木国次郎

津久井郡参事会

津久井郡長 宇高正郎殿

〔朱書〕
『付屬書第参号』

裁第壹号

裁 決 書

神奈川県津久井郡中野村外四ヶ村組合長

請求者 八木国次郎

右請求者請求ノ要旨ハ中野村外四ヶ村組合会ハ明治廿九年二月廿五日該組合分離ノ件ヲ議決セシニ津久井郡長ハ組合分離ハ組合町村ノ協議ニ出ツヘキモノニシテ組合会ニ於テ議決スヘカラサルモノトシ取消スヘキ旨ヲ訓令セリ依テ四月十八日更ニ組合会ヲ開キ組合分離ノ議決取消ヲ再議セシムルト雖モ組合会ハ固ク前議ノ正当ナルヲ主張シ決シテ権限ヲ越ヘタルモノニ非スト議決シ前議決ヲ更メサルニ依リ津久井郡参事会ノ裁決ヲ請フト云フニ在リ依テ神奈川県津久井郡長ハ町村制第六拾八条全付則第百三拾条ニ依リ之ヲ受ケ審理説明スル左ノ如シ

請求者ハ組合ヲ組織スルニハ代議機關ナキニ依リ協議ヲ以テスルモ代議機關アル以上ハ町村組合ヲ分離スルニ組合会ニ於テ議決スルノ相当ナルハ町村制第百拾八条ニ協議スヘシトノ明文ナキヲ以テ特ニ協議スルノ必要ナキモノト思考スルト云フト雖モ抑モ中野村外四ヶ村組合ハ明治廿二年町村制実施ノ際全制第百十六条ニ基キ五ヶ村組合ヲ設ケシメ五ヶ村協議ノ上組合協議規定マリ組合規定マツテ而後組合会議生シタルモノナリ故ニ五ヶ村組合ヲ分離セント欲セハ当初組合ヲ組織シタル時ト均シク五ヶ村宜シク協議ヲ遂クルカ又ハ五ヶ村々会ニ於テ議決スルカ二者其一ニ拠ルヘキモノニシテ組合会ナル代議機關アル以上ハ之レカ議決ヲナスハ相当ナリトノ解釈ヲ以

テ直ニ組合ニ於テ議シタルハ當ヲ得サルモノトス其故何トナレハ元來組合ナルモノハ關係町村ノ協議ヲ以テ組合會議ノ組織事務管理ノ方法費用支弁ノ方法及分担等ヲ定メテ組織スルモノナルカ故ニ組合會ノ權限ハ組合協議規定ニ依リ与ヘラレタル範圍内ニ止リテ組合ヲ離解スルカ如キ組合協議規定以外ノ事項ヲ議スルノ權限ヲ有セサレハナリ要之組合分離ノ事ハ五ヶ村ノ協議ニ出ルカ又ハ五ヶ村々會ニ於テ議スルノ外組合會ニ於テハ議スベキモノニアラズト断定ス其他全制第十六條第十七條ヲ援キ全制第一百八條ニ協議ノ文字ナキヲ以テ協議ニ依ルノ必要ナシト論スルト雖モ上來説明スル如キ道理ナルヲ以テ斯ノ如キ引証ハ本案裁決ヲ請フノ材料ト為スニ足ラズ右ノ理由ナルニ依リ裁決スルコト左ノ如シ

神奈川県津久井郡中野村外四ヶ村組合會ニ於テ組合分離ノ件ヲ議決シタルハ町村制其他法律中依拠スヘキ適条ナク且組合協議規定中明文ナキヲ以テ權限ヲ越ヘタル議決トス依テ神奈川県津久井郡長カ議決取消ヲ訓令シタルハ不当ノ処置ニアラス

明治廿年五月十八日

神奈川県津久井郡長 宇高正郎

〔未書〕
『付屬書第四号』

中野村外四ヶ村組合會職務權限之儀ニ付訴願

当中野村外四ヶ村組合會ハ明治廿九年二月廿五日組合分離ノ件ヲ議決シ直ニ出願シタルニ郡長ハ組合分離ハ組合町村ノ協議ニ出ツヘキモノニシテ組合會ニ於テ議決スヘカラザルモノトシ取消スヘキ旨ヲ訓令セラレタルニ依リ四月十八日更ニ組合會ヲ開キ郡長ヨリノ訓令ヲ示シテ再議セシメシモ組合會ハ固ク前議決ノ正當ナルヲ主張シ決シテ權限ヲ越ヘタルモノニアラズト議決シ前議ヲ更メサルニ依リ津久井郡參事會ノ裁決ヲ求メタルニ郡長ハ組合分離ノ事ハ組合五ヶ村ノ協議ニ出ルカ又ハ五ヶ村ノ村會ニ於テ議スルノ外組合會ニ於テハ議決スヘキモノニ非サルニ付組合會ニ於テ組合ノ分離ヲ議決シタルハ權限ヲ越ヘタル議決ニシテ郡長カ議決ノ取消ヲ訓令シタルハ不当ノ処置ニアラストノ裁決ヲ下シタリ抑モ中野村外四ヶ村組合ハ町村制實施ノ際ニ當リ各村獨立ヲ主張シ五ヶ村ノ組合ハ容易ニ協議整ハサル傾キアルヲ以テ郡長ハ本制第十六條第二項ニ基キ五ヶ村ノ組合ヲ設ケラレタルニ依リ關係五ヶ村ハ協議シテ組合規定ヲ定メ其理由タルヤ組合共同事務ト各村特別ノ事務トヲ区分シ組合ニ通スル事務ハ總テ組合ニテ処弁シ之ニ要スル費用ハ組合費ヲ以テ支弁スルモノト規定シ別段組合會ノ職務權限ハ規定セサルモ其末項ニ「此規定

ニナキモノハ総テ本制ニ依ルモノトス」トシタルハ組合会ノ職務権限及処務規定ノ如キハ本制第三拾三条ヨリ全五十条ニ至ルノ規定ニ準拠スルハ論ヲ俟タス何ソ組合会ト町村会トノ職務権限ニ相違アルヲ見ス況ンヤ組合ヲ分離スルハ組合ニ属スル職權ニシテ組合会ニ於テ議決シタルハ相当ナルヲ郡長ハ反テ組合ニ關係ナキ各村々會ニテ議決スヘキモノトシタルハ不当ノ裁決ト言ハサルヲ得ス何ントナレハ組合ヲ分離スルハ組合全体ニ関スル事件ニシテ各村特別ノ事件ニハ之ナク故ニ各村々會ハ特別ノ事件ニ限りテ議決シ組合全体ニ関スル事件ハ総テ組合会ノ職權トナシタルハ組合協議規定書ニ明瞭ナリ又組合ヲ分離スルニハ五ヶ村ノ協議ニ出ツヘシト言フト雖モ已ニ組合会ナル代議機關アル以上ハ組合分離ヲ組合会ニ於テ議決シタルハ相当ニシテ若シ協議ヲ必要トスレバ本制第一百八条ニ協議云々ノ文字ヲ明記スルモノニシテ本条ニ協議ノ文字ナキハ代議機關ノ設ケアルニ依リ特ニ協議スルノ必用ナケレハナリ「之レヲ要スルニ始メテ組合ヲ組織スルニハ代議機關オキヲ以テ協議ニ依ルモ代議機關アル以上ハ組合全体ニ関スル事件則チ組合分離ヲ議決スルハ組合会ノ職權ニシテ町村制及組合協議規定ニ抵触シタル条項ナキヲ以テ組合会ノ議決ハ決シテ権限ヲ越ヘサルモノト確信ス」

因テ津久井郡長ノ裁決ハ不当ナルニ依リ之ヲ取消サレ当組合会ノ議

決ハ権限ヲ越ヘサルモノトノ御裁決相成度此段訴願仕候也

津久井郡中野村外四ヶ村組合会議長全組合長

明治廿九年五月廿八日

八木国次郎

神奈川県参事会

神奈川県知事 中野健明殿

〔朱書〕
付屬書第五号

明治廿九年八月六日第壹号』

裁 決 書

津久井郡中野村外四ヶ村組合会議長

訴願者 八木国次郎

右訴願ノ要領ハ明治廿九年二月廿五日中野村外四ヶ村組合会ニ於テ全組合分離ノ件ヲ議決シタルハ権限ヲ越ヘタルモノニアラサルヲ以テ津久井郡参事会ノ職務ヲ行フ津久井郡長宇高正郎ノ与ヘタル裁決ノ取消ヲ請求スル為メ本県知事ニ提出シタルモノナリ

訴願者申立ノ理由トスル所ニ本組合協議定中ニ此規定ナキモノハ総テ本制ニ依ルモノト規定シタルヲ以テ町村会ニ属スル権限ト本組合会ノ権限ニ相違アルヲ見ス組合ヲ分離スルハ組合ニ属スル職權ニシテ組合会ニ於テ議決シタルハ相当ナリ若シ組合ヲ分離セントスルニ協議ヲ必要トスルモノナレハ町村制第一百八条ニ協議云々ノ文

字ヲ明記スヘキ筈ニシテ本条ニ協議ノ文字ナキハ代議機關ノ設ケアルニ依リ特ニ協議ノ必要ナケレハナリ故ニ組合ノ分離ノ議決スルハ組合会ノ職權ニシテ町村制及組合協議規定ニ抵触シタル条項ナキヲ以テ組合会ノ議決ハ決シテ權限ヲ越ヘスト云フニアリ

依テ本県知事ハ町村制第二百十条ニ依リ之レヲ受理シ審査スル左ノ如シ

訴願者ハ前述ノ如ク申立ルト雖モ本来組合会ハ其組合協議規定ニ依リ与ヘタル權限内ノ事項ヲ議決スルノ外該規定ノ範圍外ニ涉リ若クハ之ニ矛盾スルカ如キ議決ヲ為スコトヲ得ス故ニ組合ヲ解除スルトキハ組合会ノ議決ニ依ルヘシトノ特ニ規定ナキ以上ハ組合会ニ於テハ此等ノ權限ヲ有スルモノニアラズ然ルニ本組合協議規定中組合会ニ此權限ヲ付与シタルノ条項ナク又組合ノ存廢ハ組合内各村ニ直接利害ノ關係ヲ有スルヲ以テ特ニ其權限ヲ組合会ニ付与セサル限りハ組合ヲ解除スルノ權限ハ専ラ關係各村ニ属スルモノトス是レヲ以テ津久井郡参事会ノ職務ヲ行フ津久井郡長宇高正郎ガ本件中野村外四ヶ村組合会ニ於テ為タル組合分離ニ關スル議決ニ対シ權限ヲ越ヘタルモノト裁決シタルハ相当ナリトス

右ノ理由ニ依リ裁決スル左ノ如シ

中野村外四ヶ村組合会ニ於テ為シタル組合分離ノ議決ニ対シ津久井

郡参事会ノ職務ヲ行フ津久井郡長宇高正郎ノ与ヘタル裁決ハ取消ヘキ限りニアラス

明治廿九年八月七日

神奈川県知事 中野健明

〔朱書〕
〔付風書第六号〕

中野村太井村又野村 組合協議規定書
三ヶ木村根小屋村

第壹 組合議員ノ定數ハ戸數ノ多寡ニ準シ左ノ割合ヲ以テ之レヲ定

ム

一 戸數百戸未滿 貳名

一 戸數百戸以上貳百戸未滿 參名

一 戸數貳百戸以上 四名

第貳 前項ノ議員ハ各村々會議員ニ於テ其村内被撰挙權ヲ有スルモ

ノヨリ選挙ス

〔朱書〕
〔但議員中欠員アルトキハ二ヶ月以内ニ補欠議員ヲ選挙スルモノトス〕

モノトス

第三 組合ニハ村長及ヒ助役收入役各一名トシ委員書記其他必要ノ

付屬員若干名ヲ置クモノトス

第四 前項ノ村長及助役ハ各村々會議員ヲ合シ會議ヲ開キ選挙ス

但委員ハ組合會議ニ於テ選挙スルモノトス

第五 収入役及書記其他付属員ハ村長ノ推薦ニ依リ組合会議ニ於テ

選任スルモノトス

第六 組合役場ノ位置ハ中野村トス

第七 組合共同ノ事務ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 衛生ニ関スルコト

一 勸業ニ関スルコト

一 救助ニ関スルコト

一 教育ニ関スルコト

一 其他組合ニ通スル事務

前項ノ外各村特別ノ事務ハ各村ニ於テ取扱フモノトス

第八 共同支弁スヘキ費目及其負担割合ハ左ノ如シ

一 組合役場費

一 組合会議費

一 衛生費

一 勸業費

一 救助費

一 其他組合共同事務ノ費用

是レハ割合ヲ付セス一定ノ税率ヲ以テ各村ニ賦課スルモノト

ス

但シ歳入出総計子算ノ外ニ生スル追徴ハ直々各個人ニ賦課

スルコトヲ得

一 教育費ノ内高等小学校費

是レハ十分ノ五ヲ中野村負担トシ十分ノ五ヲ太井村根子屋村

三ヶ木村又野村ノ総地価戸数ニ割合負担スルモノトス

前項ノ外各村特別ノ費用ハ各村ニ於テ負担スルモノトス

第九 組合共同ノ物件ハ村長ニ於テ管理シ各村ノ所有ニ属スル營造

物件ハ各村ニ於テ管理セシメ村長之ヲ監督セルモノトス

第十 此規定ニナキモノハ総テ本制ニ依ルモノトス

右写之通相違無之候也

明治廿九年八月廿八日

原告訴訟代理人

利光 鶴松

(二)

不当裁決取消請求訴訟被告参考書

神奈川県津久井郡長

明治廿五年八月廿二日中野村外四ヶ村組合会議ニ於テ中野村外四ヶ

村組合協議規定書別紙(注)ノ通り議決相成候間此段及報告候也

明治廿五年十一月一日

津久井郡長 松尾豊材殿

(注) 前掲、証物写真参照。

中野村外四ヶ村組合
村長 三樹十右衛門

中野村外四ヶ村組合分離ノ件ニ付上申

曩ニ政府ハ市町村制ヲ發布シ以テ地方ニ分権自治ヲ与フルコト固ヨリ其宜シキヲ得タリト雖若シ一朝其区画措置ヲ誤ルトキハ其害ノ及ブ所大ニシテ容易ニ其回復ノ期ヲ見ルコト無キニ至ル故ニ明治十一年郡区村編成法ヲ発シ銳意慎重以テ旧来ノ事跡ヲ探究シ之ニ依テ郡町村ノ区域名称ヲ定メタルモノ遂ニ延テ今日ノ行政区画ニ及フモノアリト雖就中我中野村外四ヶ村組合ノ如キハ実施以來嘗テ組合体共同事務ニシテ円滑ニ処理セシコトナク徒ニ因循姑息ノミ是レ計リテ未タ以テ自治ノ実ヲ見ルコト能ハサルハ何ソヤ之レヲ要スルニ当初編成区域ノ措置ヲ誤ルニ基因セスンハアラサルナリ何トナレハモト市町村ナルモノハ自然ノ区域トモ謂フヘキモノニシテ府県郡ノ如キ施政上ノ便宜ヲ以テ其区域ヲ創成變更スヘキモノニアラス然ルニ我組合ノ如キハ猥リニ其区域ヲ廣大ニシテ其間風俗人情ヲ異ニシ經濟上自ラ差異アルヲ顧ミサリシヲ以テ世ノ推移スルニ隨ヒ頗ル從來ノ

慣習ヲ破リ自治ノ区画ヲ錯乱セシコト少シトセス故ニ施政上其実況ニ照ラストキハ常ニ齟齬ヲ見テ到底自活ノ精神ヲ貫クコト能ハサルヲ如何セン然ラハ則チ救済スルノ道如何此際須ラク相当ノ分離ヲナシ互ニ直接ノ利害ヲ謀リ精勵自治我郷里ヲ愛スルノ心情ヲ発セシメ推シテ以テ國家經營ノ策ヲ講セシムルニ如カス若シ果シテ然ルトキハ將來經濟上ハ勿論總テノ事業ニ於テ負担責任ヲ加重スルニ至ルハ固ヨリ予期スル所ナレトモ徒ラニ此等一旦ノ利害ヲ顧ミテ永遠ニ禍福ノ及フ処ヲ知ラサルカ如キハ断シテ社会ノ容レサル所ナリト信ス是ニ於テ乎我組合町議員ハ大ニ趨勢ノ止ムヘカラサルヲ察シ分離ノ必要ヲ感シ熟議談合遂ニ此決議ヲ致セシ所以ナリ以上ノ理由ナルヲ以テ情状ヲ酌量シ民意ヲ容レ分離ノ件御許可相成度此段及具申候也

明治二十九年二月廿八日

中野村外四ヶ村

組合長 大塚巳之助

津久井郡長 宇高正郎殿

(欄外注記) 写書字高印

津 第三四一号

明治廿九年二月廿九日發議同月同日施行

主任 山下恒吉(印)

郡長(印) 書記(印)

別紙上申ニ対シ村長及議員呼出案

中野村外四ヶ村組合分離ノ件ニ関シ書面差出相成候処右ニ付親シク
面談及度義有之候条来ル三月二日午前第九時各村組合議員総代ト
シテ一名ツ、同行出頭セラルヘク此段申進候也

明治廿九年二月廿九日

津久井郡役所

中壱村外四ヶ村
(ママ)

組合長 大塚巳之助殿

〔朱書〕
「反」問 廉 書

面談ノ時

三月二日分

第一問

明治十一年郡区町村編成法ニ依リ五ヶ村ノ区域ヲ変改シタル事実アリシヤ蓋シ惟ウニ旧封建制度以来今日ニ到ルマデ五ヶ村依然トシテ区域名称共変改シタルコトナカラン奈何

第二問

実施以来云々トハ何ヲ指称スルヤ郡区町村編成法実施以来ノ事ナル

ヤ組合共同ハ明治二十二年町村制実施以来ニアラズヤ

第三問

共同事務ノ円滑ニ処理セシコトナク徒ニ因循姑息ノミ是レ計リタルハ各村自身ノ自カラ招ク処ノ失体ニシテ当初編成区域ノ措置ヲ誤リタルニ原因シタル理アルヲ見ズ何トナレバ五ヶ村ノ区域ハ前問言ウ如ク徳川政事ノ時代ヨリ変更シタルコトナケレバ也

第四問

五ヶ村ハ自然ノ区域ニ異ル事ナシ將タ府県郡ト齊シク行政上ノ便宜ヲ図ルベキハ町村行政上極メテ必要ノ事タリ町村制ノ明文ニ拠ルモ明ケシ現今五ヶ村ノ組合ハ同制実施ノ際五ヶ村各自小独立ヲ望ミタルノ結果ニ外ナラズ隨而民意ヲ容レ不得止組合ヲ設ケタルニ過キズ

第五問

風俗人情ヲ異ニスル点何レニアルヤ其詳細ヲ挙示セヨ吉野ト川尻程トノ違ヒアルヤ解シ難シ

第六問

自治ノ区画ヲ錯乱シタル事実奈何是亦明答ヲ運ツ

第七問

相当ノ分離トハ漢乎タリ奈何分離セシコトヲ要望スルヤ苟クモ五ヶ村ヲ代表シテ上申スルニ分離ノ見込ヲモ記セズシテ上申スルトハ粗

忽モ太甚ト云フベシ

第八問

現今ノ儘ナルモ五ヶ村各自直接ノ利害ヲ謀リ自治郷里ヲ愛スル計画措置能ハザルノ理ナシ如何トナレバ各村各小独立ナレバ也組合ヲ以合併村ト誤認シタルノ、^(モ脱)如シ反思商量アレ

第九問

五ヶ村各組合経費出入ノ予算ノ調査ヲ要ス一旦ノ利害即チ永遠ノ利害ナリ利害得失計較スルコソ当局者ノ要務ナラメ一時ノ客氣ヲ以町村永久ノ利害ヲ省ミザルハ是肯スル能ハザル所也』

〔朱書〕
『第一課議第一二四号』

御部内中野村外四ヶ村組合ニ於テ該組合ヲ分離スル件議決シタル趣本月二日報第二六号ヲ以テ御報告相成候処右ハ組合内町村ノ協議ニ依ルヘキ筋ノモノニ付之レヲ組合ニ於テ議決スルハ不穩当ノ義ニ候間右ニ依リ御取斗相成度此段及照会候也

明治二十九年三月六日

内務部長 荒川義太郎

津久井郡長 宇高正郎殿

追テ本件ニ関シテハ客年十二月十八日第一課庶第一一六二号ヲ以テ及通牒置候次第モ有之候ニ付御参照相成度此段申添候也

〔朱書〕
『津庶第四一五号』

客月廿八日付ヲ以テ中野村外四ヶ村組合會議決報告セラレ候ニ付本県へ報告及候処該組合分離ノ件ハ組合内町村ノ協議ニ依ルヘキ筋ノモノニ付之レヲ組合ニ於テ議決スルハ穩当ナラサル趣キ照会越候条右了承セラレ此際右議決ハ取消シセラルヘク此段及照会候也

明治廿九年三月九日

津久井郡役所

中野村外四ヶ村組合長欠員ニ付
職務管掌郡書記 高城治寛殿

〔朱書〕
『津庶第四二二号』

中野村外四ヶ村組合分離ノ件ニ関シ組合会ノ決議ヲ得上申書差出相成候処本件ノ如キハ組合内町村ノ協議ニ依ルヘキ筋ノモノニシテ其組合会ノ決議スヘキモノニアラサル趣キ本県内務部長ヨリ照会ノ次第有之候条右了承セラルベク依テ別紙上申書却下此段申進候也
明治廿九年三月十日 津久井郡役所

中野村外四ヶ村組合長欠員ニ付
職務管掌郡書記 高城治寛殿

津 第八二五号

明治廿九年四月廿七日発議同日施行

主任 山口恒吉(印)

郡長(印) 書記(印)

中楚村外四ヶ村組合長ニ示通案

中楚村外四ヶ村組合会職務権限之件ニ関シ本月廿二日付ヲ以テ裁決

之義上申相成候処審理上左ノ事項ニ対シ答弁ヲ要シ候条詳細取調回

答セラルヘク此段及照会候也

明治廿九年四月廿七日

津久井郡役所

中楚村外四ヶ村

組合長 八木国次郎殿

一 人情風俗ヲ異ニスル実績

一 自治ノ実挙ヲサル実績

一 組合分離ヲ組合会ニ於テ議決スルヲ正当ト認ムル理由及ヒ法律ノ適条

(朱書)
『第一六四号』

答 弁 書

中野村外四ヶ村組合会職務権限之件ニ関シ津席第八二五号ヲ以テ御

照会相成候ニ付左ニ答弁致候

一 人情風俗ヲ異ニスル実績

右ハ組合分離ノ許否ニハ必要ナルモ職務権限ノ裁決ニハ必要之レナキモノト被考候何トナレハ組合分離ノ裁決ヲ請フタルニハ非ラ

ズシテ組合会ノ職務権限ニ対シ裁決ヲ請フタル義ニ有之候

一 自治之実挙ヲザル実績

右同断

一 組合分離ヲ組合会ニ於テ議決スルヲ正当ト認ムル理由及法律ノ適条

右ハ組合ヲ組織スルニハ代議機関ナキニヨリ協議ヲ以テスルモ代議機関アル以上ハ組合ヲ分離スルニ組合会ニ於テ議決スルヲ相当ト議決シタルモノニシテ監督官庁ハ組合ヲ分離スルニハ必ス協議ヲ以テスルモノト言フト雖モ本制第百拾八条ニハ協議云々ノ明文ナシ若シ協議ヲ必要トスレハ第百拾六条及第百拾七条ノ如ク必ス協議云々ノ文字ヲ明記スルモノニシテ本条ニ協議ノ文字ナキハ代議機関ノ設ケアルニヨリ特ニ協議スルノ必要ナキモノト被考候又本制第三拾三条町村会ノ議決スヘキ概目ニ組合分離云々ノ明文ナキニヨリ議決スルノ権利ナシトスレハ町村会ニ於テ地方税戸数割賦課法ヲ議決シ村会議員ガ組合議員ヲ選挙シタルモ亦明文ナキ